

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年11月30日（水）

### 2 確認箇所

2・3号機建屋西側

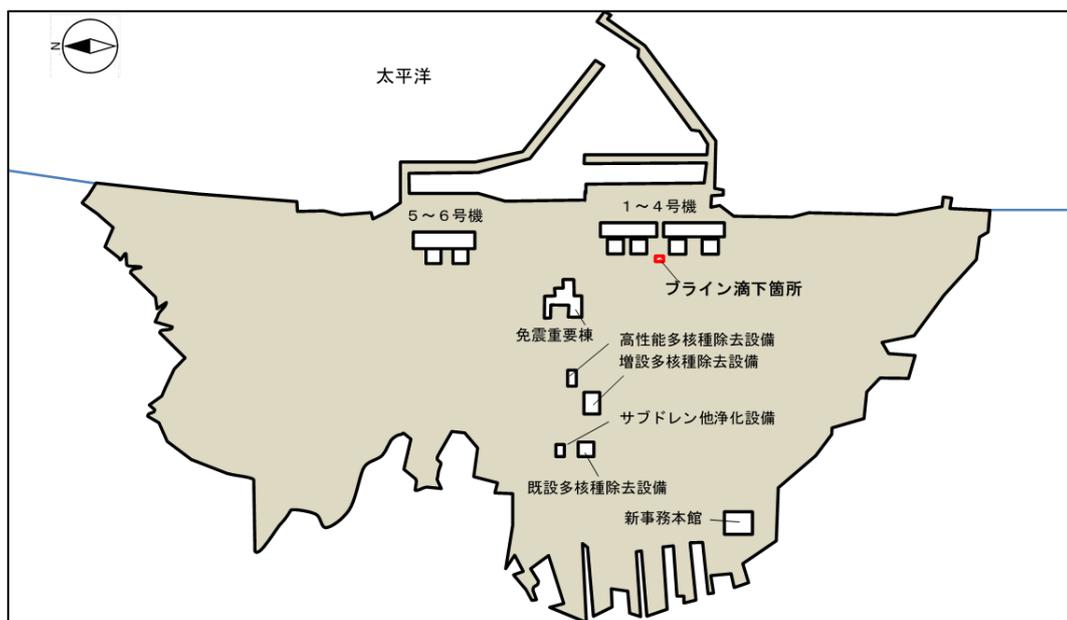
### 3 確認項目

陸側遮水壁におけるブライン（冷媒）の滴下状況

### 4 確認結果の概要

令和4年11月28日に陸側遮水壁のブライン供給配管において、現場をパトロール中の協力企業の作業員が5秒に1滴程度の頻度でブラインが滴下している事象を確認した。東京電力では、今後、ブラインの滴下箇所の復旧作業等予定していることから、その状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・滴下箇所は、配管同士を繋ぐカップリングジョイント下側で保温材が外され、シートによる養生がされており、配管の下部には滴下したブラインを受けるためのタンクが設置されていた。（写真2）
- ・ブラインの滴下は継続していたが、滴下の頻度が7秒に1滴程度に低下していた。（写真3）
- ・東京電力は、本事象によるブラインタンク液位低下や陸側遮水壁の温度上昇はないとしており、今後、配管のレベル調整を実施し、経過観察としている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
現場周辺の状況



(写真2-1)  
滴下箇所の状況



(写真2-2)  
受けのため設置されたタンク

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。